



平成 25 年 10 月 10 日

三ブロック懇談会

発行責任者 荻野行広

第 2 号

# JJJ つうしん TBG 版

## 26 年度総会に向けて

東海・北陸ブロック協議会 ブロック長 長谷部光由

私は 昨年 岐阜清流国体 岐阜清流大会の直前 1 月の役員会にて、会長就任いたしました。

そして、本年 3 月に東海、北陸ブロック代表者会議を行い設立総会を開くことになりました。

以前より、福井県の前川新太郎事務局長より日本協会の問題点を聞いていました。つきまして設立総会に関東ブロックの荻野行広さんもお同席いただき今までの日本協会の経緯を聞き、東海・北陸ブロックも、関東・東北ブロックと三ブロックが足並みを揃え、今後日本協会と対峙して行くと決まりました。

ゆえに東海・北陸ブロックとしての方針をしっかりと話し合い組織を固め三ブロックが一致団結して 26 年度総会に臨みたいと思います。

## 独り言

東海・北陸ブロック協議会 副会長 森本定利

「ルールは一本でなければなりません」

この混乱はいつ解決するのでしょうか？

1 日でも早く、日本 TBG 協会会長が決断すべきじゃないでしょうか、各地の大会に参加させていただき思うことは、これだけ混乱した組織の中でもターゲット・バードゴルフを愛し、いつまでも続けてやりたいスポーツと思っている人たちが沢山います。

役員・会長しっかりしろ - - と言っています。

日本 TBG 協会は唯一「全日本大会」が主催行事であって年に一度のお祭りと思います。参加費を安くしみんなが参加できる大会をお願いしたいものです。

「総会」もその時すませてはいかがでしょうか。

ブロック大会は各ブロックの皆さんでやっていけるじゃありませんか。

また各地の大会はその主催団体でやっていただいて、日本 TBG 協会は、「ルールを研究する場所」として一本のしっかりした道を示していただきたいです。

公認指導者制度については、何のメリットもない制度でお金の無駄と、指導者の多くが反対しているにもかかわらず、主要な財源となっているのが現状であります。

財源については今後どうして行くのか？ 公認指導者制度も含め総合的に検討していく必要があります。（平成 23 年度総会で約束してそのままで、別個に個人正会員登録制が再度出てきています）

再度お願い致します、この混乱を早く収束し楽しいターゲット・バードゴルフの復活を切に希望いたします。



## 東海・北陸ブロックの現状と日本協会に対して 東海・北陸ブロック協議会 事務局長 前川慎太郎

東海・北陸ブロックが位置づけされてから約15年間 仮称団体として歩んできた7県 静岡 愛知 三重 岐阜 富山 石川 福井がようやく3月2日に 正式に歩みだしました。他のブロックからはかなり遅れをとってききましたが、昨今の日本協会に対する不信感 使途不明金 勝手な組織運営に対して我々 東海・北陸ブロックとしてどう対応していくべきか 昨年11月に岐阜に集まりこうしてはっきりと意思表示ができる団体になりました。

日本協会が勝手に決めたブロック長とは名ばかりで 地域愛好者に対して日本協会のことを何も語らず何も行動も起こさず 日本協会の不正も知りながら長い間隠していました。

22年度において日本協会の総会に出席し会計報告書を見てあまりにずさんな決算報告に驚くばかりでした。900万もの入金がありながら 又200万近い繰越金がありながら 利息項目が無く 会計報告の金額も1,000円単位である等あり得ない物でした。

翌年利息について問いただしたところ、鈴木理事長の回答は 微々たる金額についてあげる必要が無いとの全くあり得ない回答でした。

我々県協会 市の協会 町の協会であっても1円の重さに変わりはないものです。このような方の近年における日本協会の運営に対し 東北4県 関東甲信越7県 そしてわが東海北陸7県は強く異議を唱え 昨年度決算報告で上がった200万余（以後20万余の使途不明金があったと理事会執行部が認めた）金額に対して誰が弁済し どのように責任をとるのか又昨年以前の会計報告に対しても全く証拠書類が無い状況 メクラ監査の実態などを追及していくまでもなく 新しい役員新組織での開かれたTBG協会に対し期待していくべきではないのでしょうか。

### 使途不明金よもやま話

元日本TBG協会調査委員長 船見敬造

日本ターゲットボード・ゴルフ協会で、会計の問題が取り沙汰されるようになったのはなぜでしょう？これには「個人正会員登録制」の問題が大きくからんでおりますので、その経過を振り返ります。

「個人正会員登録制」事案の経過（常任理事会意見書：船見敬造より抜粋）

- ① この問題は、平成21年度総会で過年度承認事項として確認
- ② 平成22年度に県協会登録者を日本協会会員として登録（月1000円の会費）  
初めて会費の伴う案であることが明らかとなる。  
総会会場が混乱し「都道府県協会の状況を調査してそれを参考に検討していく」ことで収まる。
- ③ 平成23年度総会では、前年度総会の約束が準備のないまま行う。  
事前に開かれた常任理事会では「このままでいいのか？」と言われても、執行部は見向きもしない。
- ④ 平成23年度総会では混乱の中、楠見副会長が「個人会員はこうゆう存在、公認指導者の関係、或いは認定員との関係を整理して、経理の透明性もしっかり事務局の方で明らかにして頂き、24年度から実施とゆう答えは出さない」と、発言し会場を収めています。
- ⑤ 今回の理事会の協議内容には、総会で約束したことが一つも入っておりません。
- ⑥ 平成22年度でお金の問題が出てきたので、都道府県代表者は決算・予算に関心を向け、  
常任理事や理事に旅費も払わないで900万も使って、どこにお金が行っているのだ。

都道府県から見て900万の予算を組むような活動をしているのか？ということになって、会計を明瞭に、会計監査はどうなっているのか？と次々と疑問が湧いてきた。

その結果、平成23年度第2回理事会で「調査委員会」が設けられました。（平成24年3月26日）

